

宗像市議会

議長 岡本 陽子 様

予算決算第2特別委員会

委員長 川内 亮

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

### 記

第76号議案から第81号議案までの6議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和6年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

### 第76号議案 令和6年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 97億3,849万6,480円（前年度比5.7%減）  
歳出決算額 96億7,784万 340円（前年度比5.3%減）  
歳入歳出差引額 6,065万6,140円
- 2 被保険者数は、団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行していることにより減少が続いている。今後も社会保険の適用拡大、定年延長などの影響も加わり減少傾向が続くと見込まれている。
- 3 ジェネリック医薬品の普及状況は、差額通知の発送や薬剤師会と連携した利用勧奨の実施に加え、令和6年10月から先発医薬品とジェネリック医薬品の差額の4分の1を被保険者が自己負担する制度が開始されたことで、数量ベースの普及率が89.4%、前年度比7.9ポイント増と大きく上昇した。
- 4 レセプト点検調査は、委託料1,623万9,451円に対し効果額が2,270万5,000円と例年に引き続き大きな効果を上げることができた。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,158万6,485円（前年度比4.5%増）  
歳出決算額 6,914万1,742円（前年度比6.2%増）  
歳入歳出差引額 244万4,743円
- 2 高齢化による施設入所者数が増えたことやインフルエンザの感染者数が少なかったことにより、一般診療は3,482人と前年度と比較して484人減少した。
- 3 歳出では、令和5年度に実施した診察室のエアコン更新が令和6年度にはなかったため施設整備費は減少したが、自動血球計数装置及び心電図検査装置の買換えに伴い、医業費は増加し

た。

### 【意見】

(賛成意見)

・昨今の異常気象や物価高騰により、国保加入者の経済状況が大変厳しくなっている中、基金を活用して税率・税額を据え置いたことを評価する。さらに基金を活用し、子どもの均等割の減免措置など支援を広げるよう検討してほしい。必要な人が必要な医療を受けられるようにする取組も検討してほしい。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 77 号議案 令和 6 年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 20 億 6,602 万 7,627 円 (前年度比 12.8%増)  
歳出決算額 20 億 784 万 7,623 円 (前年度比 12.5%増)  
歳入歳出差引額 5,818 万 4 円
- 2 被保険者数の増加により、歳入及び歳出決算額が増加した。令和 6 年度末の被保険者数は 1 万 6,578 人で、前年度比 547 人、3.4%の増となった。
- 3 令和 7 年度には団塊の世代全員が後期高齢者医療保険に加入し、被保険者数は約 1 万 7,000 人に達すると見込んでいる。また、被保険者数のピークは令和 17 年で約 1 万 9,000 人に達すると推計しており、今後も医療費の増加が見込まれるため、病気の早期発見・早期治療を促し医療費の適正化を図っていく。

### 【意見】

(反対意見)

・年金の引下げや物価高騰により後期高齢者の暮らしは苦しくなっており、今後も被保険者数の増加や医療の高度化により医療給付費が増えれば、それに伴って保険料が引き上げられ、被保険者の負担は重くなることが予想される。75 歳以上の人たちだけで支える制度そのものに無理があると指摘する。また、福岡県後期高齢者医療広域連合の令和 6 年度決算で 41 億円の剰余金が生じていることが明らかになった。市長には、この剰余金を活用した後期高齢者への支援について要望してほしい。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 78 号議案 令和 6 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 81 億 9,973 万 6,229 円（前年度比 1.8%増）  
歳出決算額 81 億 8,569 万 403 円（前年度比 4.3%増）  
歳入歳出差引額 1,404 万 5,826 円
- 2 75 歳以上の人口増加に伴い、認定者数は年々増加しているが、地域包括支援センターにおける総合相談機能の充実、介護予防事業などの取組の成果により、要介護認定率はわずかな上昇にとどまっている。
- 3 居宅サービスにおける訪問系サービスのニーズが高まっており、給付費も増加している。
- 4 令和 6 年度においては、介護保険事業所の休止が 2 件、廃止が 9 件あっているが、新規の事業所も増えており、事業所数は令和 5 年度と比較して 2 事業所増の 140 事業所となっている。
- 5 第 9 期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画期間（令和 6 年度から令和 8 年度まで）における介護保険料基準額を月 250 円引き下げたことなどによる歳入不足を補うために、1 億 922 万 8,000 円の基金の取り崩しを行った結果、介護給付費準備基金の年度末残高は 14 億 219 万円となった。

### 【意見】

（賛成意見）

・職員については、きめ細かな対応をしていることを評価する。また、基金を活用し介護保険料を引き下げたことを評価する。国の交付金はインセンティブの色合いが強く、介護給付費の削減に自治体を追いやる国のやり方には問題がある。高齢化が進む中、事業所の休止・廃止が増えれば介護難民が増えるのではないかと危惧する。基金を活用し、人材不足や物価高騰に苦しんでいる事業所の支援にも取り組んでほしい。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 79 号議案 令和 6 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに 4,927 万 3,980 円（前年度比 3.9%増）。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和 6 年度は 16 合議体で延べ 261 回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で 5,434 件、その割合は宗像市が 62.6%、福津市が 37.4%である。
- 3 歳出の主なものは、認定審査会委員等の報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 80 号議案 令和 6 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 6 億 1,359 万 926 円（前年度比 7.9%減）  
歳出決算額 6 億 964 万 1,926 円（前年度比 8.5%減）  
歳入歳出差引額 394 万 9,000 円
- 2 歳入及び歳出の減額の要因は、令和 5 年度は旅客船しおかぜの定期検査及びそれに伴う主機関の分解整備を実施したが、令和 6 年度は実施しなかったことによるものである。
- 3 共通予備船導入に関する専門部会での協議を実施していたが、全国的にも例がなく、検討項目の抽出、関係法令の適用確認、情報の集約整理などに時間を要したため、令和 6 年度中に業務を完了できず令和 7 年度も継続して協議を行う必要があったため、翌年度へ繰越すべき財源 394 万 9,000 円が発生している。

### 【意見】

（賛成意見）

- ・コロナ禍から渡船利用者数も回復しており、島民の生活のための航路運営に努力していることを評価する。共通予備船の取組や港の管理については、引き続き頑張ってもらいたい。
- ・多くの観光客に来てもらうことも大事だが、雇用の創出と島民の暮らしを支える取組も重要である。子育て支援策の一環として高校生まで旅客運賃の減額を拡大するなどを検討し、島の活性化につなげてほしい。

### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 81 号議案 令和 6 年度宗像市下水道事業会計決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）  
収入決算額 29 億 6,124 万 6,063 円  
支出決算額 26 億 2,723 万 574 円
- 2 資本的収支の決算状況（税込み）  
収入決算額 3 億 1,845 万 8,000 円  
支出決算額 12 億 6,757 万 1,038 円  
収入不足分は、損益勘定留保資金等で補填している。
- 3 経営の健全性を示す経常収支比率は、営業費用の増加に伴い、前年度比 2.6 ポイント減の 112.7%、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 2.0 ポイント減の 93.7% となった。
- 4 年間総処理水量は 1,119 万 4,069 立米で、前年度比 0.1% の減となった。また、年間総有収水量は 938 万 7,494 立米で、前年度比 0.8% の増となった。

- 5 下水道管閉塞時の影響の大きさを考慮し、市独自で管径1,000ミリメートル以上の管路約1.7キロメートルを対象に点検を実施した。
- 6 雨に強いまちづくりビジョンに基づき、栄町、くりえいと、田久地区において河川や水路からの逆流を防ぐフラップゲートの工事発注に向けた測量調査設計を実施した。

#### 【意見】

(賛成意見)

・老朽化した下水道管の更生やマンホール蓋の取替えなどを適宜行い、大雨時にマンホールから汚水が溢れることがないように適切に管理をしてほしい。また、雨水対策についても、スピード感を持って進めてほしい。

・今後、想定される以上に下水道管やマンホールの老朽化が進むのではないかと懸念する。横浜で起きたマンホール蓋飛散による事故が本市でも起きないように気をつけて事業を進めてほしい。(反対意見)

・今後、投資的経費が増えていくことが予想される中、物価高騰で生活が苦しくなっている市民の生活を支えるために一般会計からの繰入れを増やすなど、下水道料金に転嫁しないよう検討すべきである。

#### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

### 第83号議案 令和7年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ5,870万2千円を増額し、97億1,708万5千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出の予算総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

令和6年度事業勘定決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で償還金及び還付加算金並びに基金積立金を増額する。また、直営診療施設勘定決算額の確定に伴い、歳入で基金繰入金を減額し、歳出で繰出金を減額する。

#### 〔直営診療施設勘定〕

令和6年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第84号議案 令和7年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ2,895万3千円を増額し、22億1,732万4千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和6年度決算額の確定に伴い、歳入で後期高齢者医療保険料及び繰越金を増額し、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。また、福岡県後期高齢者医療広域連合における令和6年度決算額の確定に伴い、歳入で雑入を増額し、同額を一般会計繰入金から減額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第 85 号議案      令和7年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ3,370万7千円を増額し、82億1,953万円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 令和6年度決算額の確定に伴い、歳入で国庫補助金、支払基金交付金、県負担金、一般会計繰入金及び繰越金を増額し、歳出で基金積立金、償還金及び還付加算金並びに繰出金を増額する。
- 2 システム標準化に伴い、歳出で帳票変更のため総務管理費を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第 86 号議案      令和7年度宗像市下水道事業会計補正予算（第1号）について**

収益的収入及び支出において、収入を1,534万円減額し、収入総額を29億9,348万5千円に、支出を1,737万円減額し、支出総額を27億5,225万5千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和6年度決算額の確定に伴い、収益的収入及び支出を減額する。また、企業会計システムを更新するための委託料を計上する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。